

「支援センター」を知ることも SDGs 本庄支部 吉田 豊

SDGs の目標に「誰ひとりも取り残さないために」という目標がある。

支部の多くの会員が80歳前後になり個人差もあるが身近な環境の変化によるQOL（生活の質）の低下である。

そんな時、身近に「地域包括支援センター」が出来調べた。

地域包括支援センターとは各自治体にあり、介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を支える「総合相談窓口」です。専門知識を持った職員が、高齢者が住み慣れた地域で生活できるように介護サービスや介護予防サービス、保健福祉サービス、日常生活支援などの相談に応じており、介護保険の申請窓口も担っています

結果、豊友会会員なら知って置いて良い施設である。

そこで「本庄支部通信」で特集した。

併せてその部分を別刷りにして役員を通してご近所で必用と思われる方のポストに入れた。

「通信」を配布した会員やご近所からも「地域支援センター」の役割と自分の環境変化との兼ね合いが理解出来たと喜ばれた。。是非、皆さんも居住地にある「地域包括支援センター」を知って下さい。